

6 年	家庭	「見つめてみよう 生活時間」 4 時間	概 要	学習ナビ、振り返り	適 △
手 立 て	・ 学習ナビ ① めあて 3 つ ② 評価リスト ・ 知識・技能 4 つ ・ 思考力・判断力・表現力 3 + 3 前半 3 つができて B、 後半 3 つができて A と説明 ・ 学びに向かう力 5 ・ 記録媒体は自由とし、使用するノートタイプも問わないとした。 ・ 単元の終わりに全体で学習内容の振り返りをし、一人一人が評価リストの最終チェックをするとともに、文章で振り返りを記入する時間を確保した。次の単元の初めに、良い振り返りを紹介した（写真左）。	児童の様子	・ タブレット端末使用児童 66 % ・ ノートなど紙媒体にまとめる児童 37 % （タブレットと並行使用あり） ・ 教科書の表にまとめる児童 11 %（4 名） ・ 取り組みが不十分な児童 なし ・ ただし、学習用具が揃わず裏紙を使用する児童あり（4 名） ・ 数人で集まって学習する児童が、同じスライドにまとめる 21 % ・ 生活時間を入力できるサイトを見つけて使い始めるが、動作が悪くなり教科書に切り替える児童 1 ・ 学習途中で「評価リスト」をチェックする児童 3		
成 果	・ 評価項目を単元の初めに明示したことで、高評価を目指す児童はスムーズに取り組むことができた。 ・ 仲の良いグループで集まっていますが、マイペースに学習する姿や、近くで何をしているか見られるだけで学び方が広がる姿が見られた（一斉指導と同じ）。 ・ A 児童は机の上をうまく使うことができ、複数のツールを並行して使用できることが分かった。	課題	・ 導入で学習ナビの説明に 10 分を要した。 → ガイダンスとして必要と後に分かった。 ・ スライドを共有してまとめる児童（結果的に全て C 児童）は進行状況も内容も芳しくなかったため、個別の成果物となる縛りが必要だった。 ・ 学習ナビがあることで、学習の際に児童が見るべきものが増えた。複数の資料を見る技能が無いと厳しい。 ・ 短時間の単元では、学びの調整ができない。 ・ 評価リストが適当であったか。		